

議提第7号

「ヒロシマ・ナガサキ議定書」のNPT再検討会議での採択に向けた取り組みを求める意見書

会議規則第14条の規定により、「ヒロシマ・ナガサキ議定書」のNPT再検討会議での採択に向けた取り組みを求める意見書を次のとおり提出する。

平成22年 3月19日 提出

提出者	北本市議会議員	加藤勝明
賛成者	北本市議会議員	中村洋子
賛成者	北本市議会議員	湯澤清訓
賛成者	北本市議会議員	串田英夫
賛成者	北本市議会議員	桂祐司
賛成者	北本市議会議員	中山敬弘
賛成者	北本市議会議員	現王園孝昭
賛成者	北本市議会議員	岸昭二
賛成者	北本市議会議員	島野和夫
賛成者	北本市議会議員	福島忠夫
賛成者	北本市議会議員	黒澤健一
賛成者	北本市議会議員	工藤日出夫
賛成者	北本市議会議員	金子真理子
賛成者	北本市議会議員	阪井栄見子
賛成者	北本市議会議員	横山功
賛成者	北本市議会議員	伊藤堅治
賛成者	北本市議会議員	吉住武雄
賛成者	北本市議会議員	三宮幸雄
賛成者	北本市議会議員	大澤芳秋

北本市議会議長 高橋節子様

## 「ヒロシマ・ナガサキ議定書」のNPT再検討会議での採択に向けた取り組みを求める意見書

世界の恒久平和は、人類共通の願いであり、我が国は、世界で唯一の被爆国として、これまでも核兵器廃絶を求めてきました。また、本市議会も非核平和都市宣言を決議し、世界平和の実現を求めています。

2009年4月のオバマ米国大統領の「核兵器のない世界」に向けた演説以降、核不拡散・核軍縮に関する国連安全保障理事会首脳級会合での鳩山総理の核兵器廃絶の先頭に立つとの決意表明、さらに、我が国が米国などと共同提案した核軍縮決議案の国連総会での圧倒的多数の賛成を得ての採択など、核兵器廃絶に向けた世界的な流れは加速しています。

こうした歴史的な流れをさらに確実なものとし、核兵器廃絶を早期に実現するためには、明確な期限を定めて核保有国をはじめ各国政府が核兵器廃絶に取り組む必要があります。

このため、本市を含め世界の3,680都市（2010年3月1日現在）が加盟する平和市長会議では、2020年までに核兵器を廃絶するための具体的な道筋を示した「ヒロシマ・ナガサキ議定書」が2010年の核不拡散条約（NPT）再検討会議で採択されることを目指しています。

よって、国会及び政府においては、「ヒロシマ・ナガサキ議定書」の趣旨に賛同し、2010年のNPT再検討会議において同議定書を議題として提案していただくとともに、その採択に向け、核保有国をはじめとする各国政府に働きかけていただくよう強く要請します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

### 【提出先】

衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・総務大臣・外務大臣